

## 台風一過でクエ豊漁？

平成 29 年 10 月 23 日、超大型で強い勢力の台風 21 号が静岡県に上陸し、伊豆半島沿岸では大時化となり、堤防の決壊や漁船の流失など大きな被害が出ましたが、その一方で、ある珍しい魚の水揚量が増加しました。

その魚とは、高級魚として有名な「クエ」です。スズキ目ハタ科マハタ属ハタ亜科に属し、関東以南の太平洋沿岸から東シナ海沿岸に分布します。伊豆地域では「もろこ」と呼ばれ、定置網や釣りで漁獲されます。全長 1.5m、体重 50 kgほどに成長する大型魚であり、加えて食味が良いことから、遊漁の対象種としても人気の高い魚です。しかし、水揚げ量は非常に少なく、“幻の魚”とも呼ばれています。(図 1)



図 1 伊東魚市場に水揚げされたクエ

### 台風 21 号通過後のクエ水揚げ状況

平成 25～29 年の伊東魚市場におけるクエの月別水揚げ量は、いずれの年も 9～11 月に水揚げ量が多いのですが、平成 29 年 10 月は 387 kg と突出して水揚げ量が多く、2013～2016 年 10 月の平均水揚げ量 (68 キロ) の 5.7 倍でした (図 2)。平成

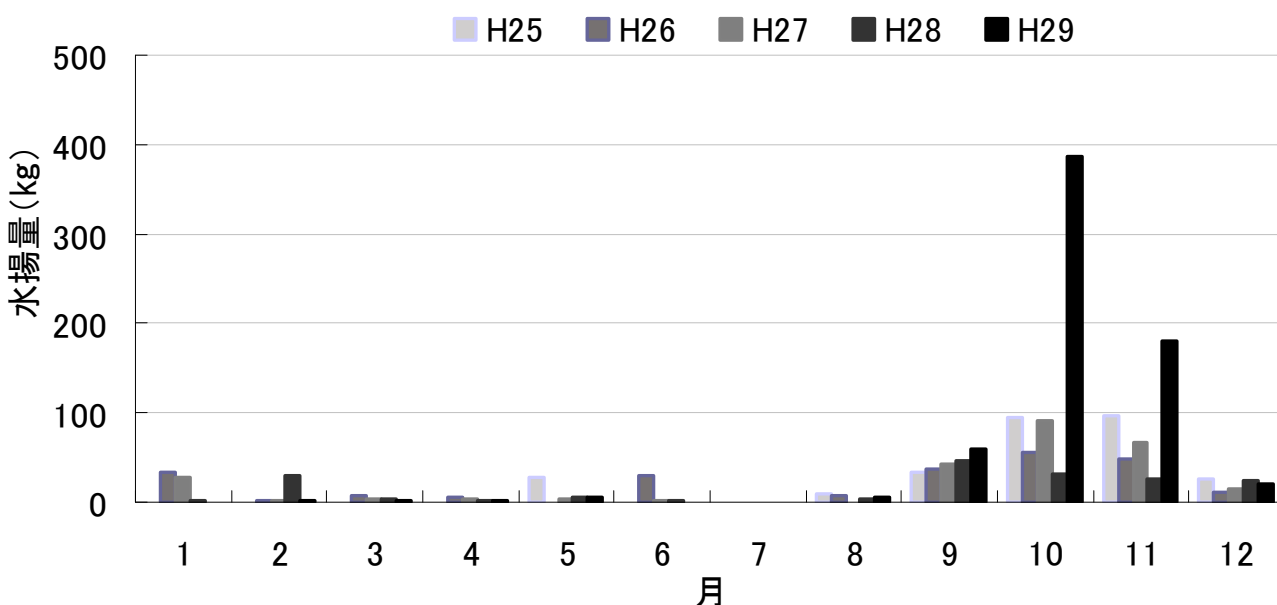


図 2 伊東魚市場における平成 25～29 年クエ月別水揚げ量の推移

29年10月については、1～24日の平均水揚量は5.4 kg/日でしたが、25日は135 kg/日と、台風通過後に水揚量が急増していました（図3）。

また、クエの水揚量が最も多かった漁業種類は定置網（富戸網、川奈四そう張）で、釣りや刺網での水揚量はわずかでした。

漁獲されたクエは、2.5～3.0 kgサイズが最も多く、次いで1.0～1.5 kg、3.5～4.0 kgサイズが多かったです（図4）。

なお、三重県でも、台風21号通過後の26日に定置網（南伊勢町の神前浦定置網）にクエがまとまって入網した（300尾/日、3～5 kgサイズ）とのことですので、台風通過とクエ水揚量には何らかの関係性があるのかもしれませんが。

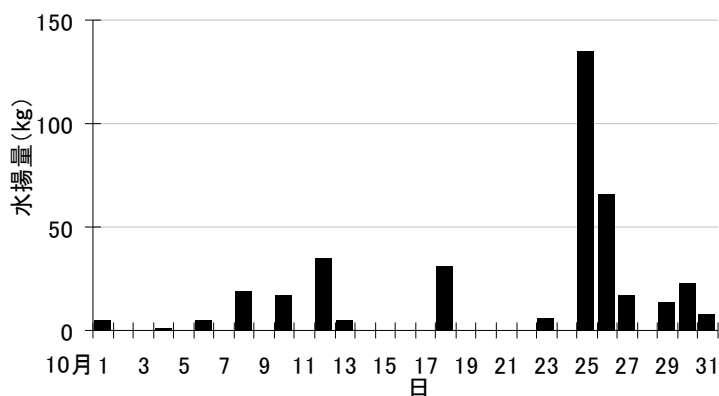


図3 伊東魚市場における平成29年10月のクエ日別水揚量の推移

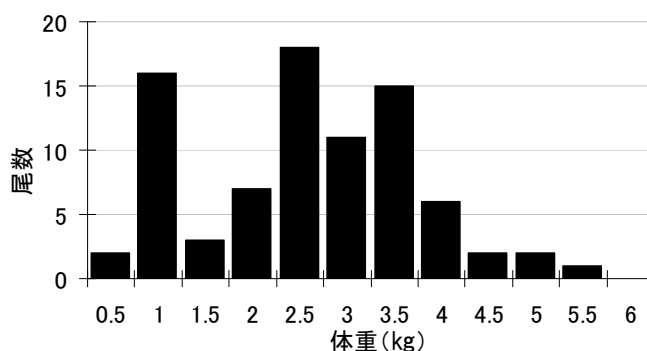


図4 伊東魚市場に水揚げされたクエ漁獲サイズ

(鈴木勇己)